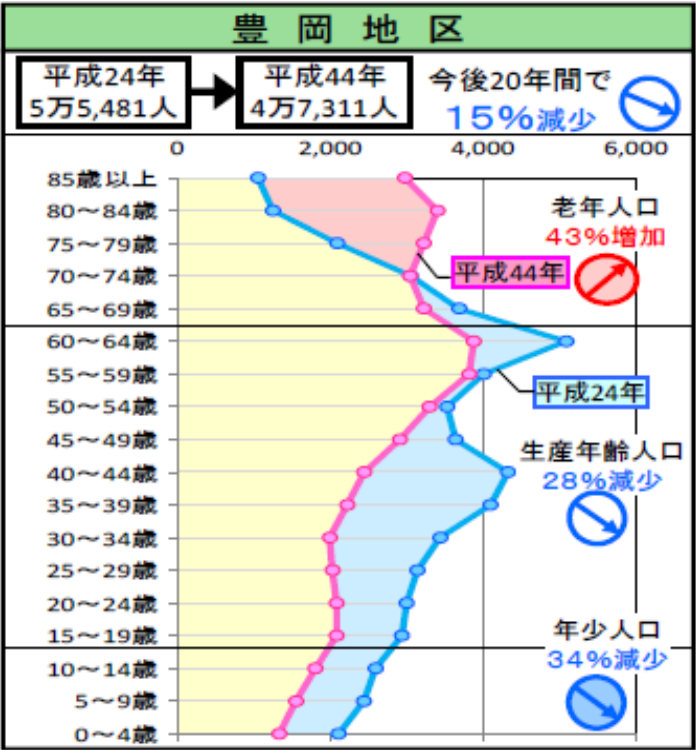


豊岡第3地区の概要

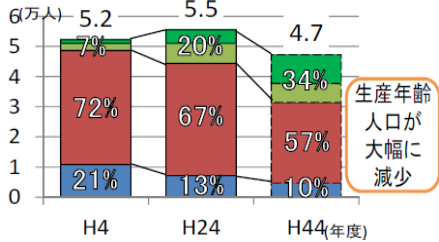
資料 1

【人口動向】



〔人口動向の特徴〕

- 人口密度が高く、市民の約37%が居住している地区です。
- 平成4年と平成24年の比較で、生産年齢人口及び年少人口が大幅に減少しており、今後の推計でもさらに減少が予測されています。
- 老年人口は急激に増加しており、今後もその傾向は続くことが予測され、高齢化はますます進みます。



	平成24年(比率)	平成44年(比率)
老年人口	11,128人(20%)	15,874人(34%)
生産年齢人口	37,215人(67%)	26,754人(57%)
年少人口	7,138人(13%)	4,683人(10%)

【公共施設の配置状況】

施設の種類		施設名
地域対応施設	公民館	黒須公民館、高倉公民館
	小学校	黒須小学校、高倉小学校
	中学校	黒須中学校
	保育所	黒須保育所（公設民営）、高倉保育所
	学童保育室	黒須学童保育室、高倉学童保育室
広域対応施設		武道館・弓道場

〔施設配置の特徴〕

- 地区内に公民館が2施設、小学校が2校あり、統合の対象となります。
- 保育所は豊岡地区で1施設とする案であるため、豊岡保育所、高倉保育所、黒須保育所を統合する必要があります。
- 広域対応施設としては、武道館・弓道場があります。

【公共施設の現状と課題】

- 黒須、高倉両公民館は、建物としては築40年以上経過しており、今後計画的な改修を行う必要があります。また、稼働率は、黒須公民館が38%、高倉公民館が27%となっており、利用状況としては活発ではありません。
- 黒須小学校は築45年、高倉小学校は築33年、黒須中学校は築38年となっており、老朽化が進んでいます。
- 黒須保育所は築48年と老朽化が進んでおり、早急な対応が必要な状況となっています。平成28年度は、定員に対して82%（定員90人/入所74人）の入所率であり、比較的余裕がある状況です。
- 学童保育室については、黒須学童保育室と高倉学童保育室の2つの学童保育室があり、黒須学童は黒須小学校の隣接地に設置されています。高倉学童保育室は、築年数が30年以上を経過し、老朽化が進んでいます。

【地区の成り立ちと現状、将来の見通し】

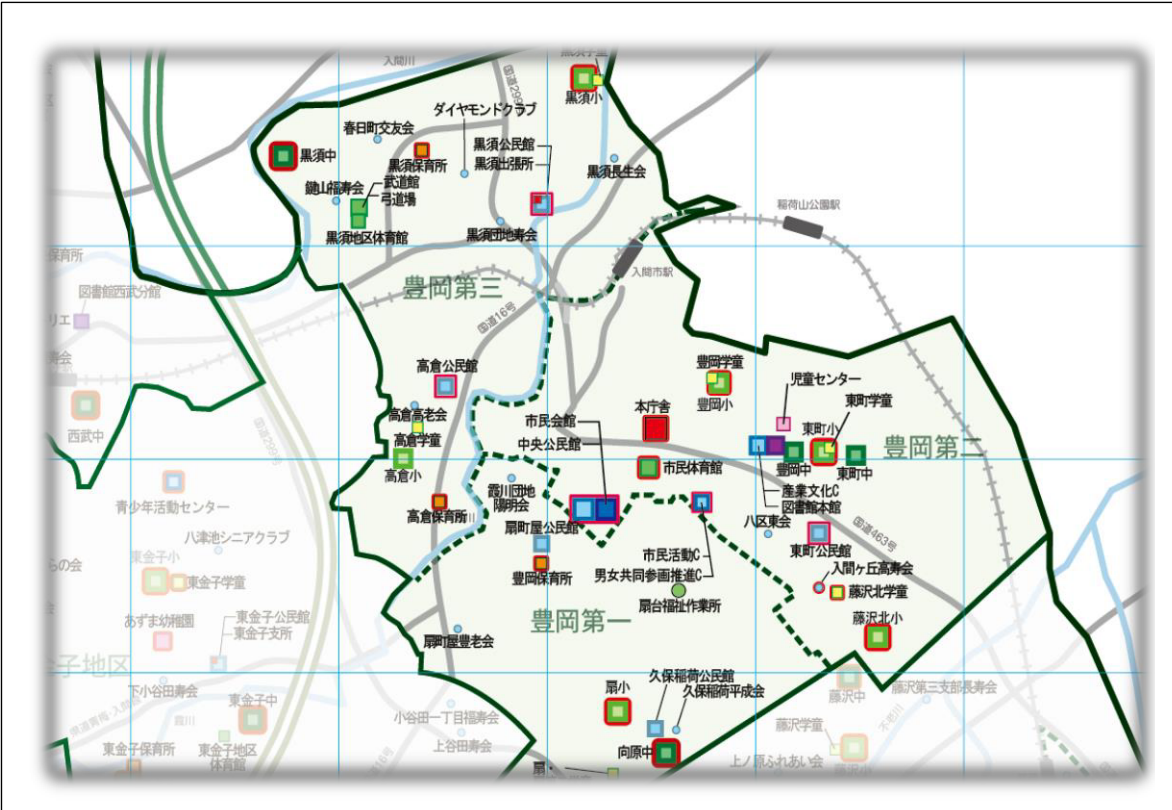
〔地区全体〕

- 豊岡町のころから地区の行政、商業の中心地であった扇町屋地区に、多くの公共施設が設置されていました。昭和40年代以降は、人口増加に対応して東町地区や黒須・高倉地区にも公共施設が整備されてきました。
- 昭和末期から平成の初めにかけて入間市駅周辺の再開発が進み、入間市駅から豊岡、扇町屋地区にわたって中心市街地が形成されました。
- この地区には、市役所、市民会館、市民体育館、産業文化センターなど、広域的な公共施設が多数設置されています。
- 人口については、市内で最も密度が高い地区ですが、今後20年間では人口が約15%と大幅に減少する予測となっています。また、人口の年齢構成も年少人口、生産年齢人口が減少する一方、高齢者人口は43%と大幅に増加する見込みです。

〔豊岡第3地区〕

- 旧来より商工業が発展していて人口の多かった黒須地区では、昭和40年代の人口増加に合わせ黒須公民館、黒須小学校を設置しました。その後も地区の人口が増加したため、これに対応して高倉地区に高倉公民館、高倉小学校を設置しました。
- 地形的には、地区の一部が丘陵となっており、丘陵の上下に住宅地が広がっています。
- この地区には、西武池袋線入間市駅があり、バス路線については、南東部の地域で運行されていますが、丘陵の上側や北西部の地域にはありません。
- 地区の中に一部商店街がありますが、主として住居中心の地区です。
- 土地区画整理事業が進行中ですが、近年大規模な宅地開発は行われていないため若年層の流入は少なく、高齢化が進んでいます。

【施設配置図】



【公民館の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
黒須公民館	818.70 m ²	昭和 44 年	48 年	RC 造	市
高倉公民館	641.53 m ²	昭和 52 年	40 年	RC 造	市

- ・両施設とも築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・いずれの施設も周辺が住宅地となっており、敷地を拡張する余地は少なくなっています。

②利用状況

	利用件数	利用者数	稼働率	住民 1 人当たりの年間利用回数	トータルコスト
黒須公民館	2,337 件	30,276 人	38%	4.0 回	3,449 万円
高倉公民館	1,780 件	20,630 人	27%	4.5 回	3,343 万円

- ・利用者数については、両施設とも全公民館の平均利用者数の 39,793 人を下回っています。
- ・稼働率は両施設とも低く、特に高倉公民館は全公民館の平均稼働率 34%も下回っています。
- ・住民一人当たりの年間利用回数を見ると、両施設とも全公民館の平均利用回数の 3.6 回を下回っています。
- ・トータルコストについては、全公民館の平均額が 4,069 万円であるため、両施設とも下回っています。

【小中学校の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
黒須小学校	6,253.00 m ²	昭和 47 年	45 年	RC 造	市
高倉小学校	5,961.00 m ²	昭和 59 年	33 年	RC 造	市
黒須中学校	5,683.00 m ²	昭和 54 年	38 年	RC 造	市

- ・各施設とも築 30 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・小学校が地区内に 2 施設あり、統廃合の対象となります。

②利用状況（各年 5 月 1 日現在）

	平成 24 年度 児童生徒数	平成 24 年度 学級数	平成 29 年度 児童生徒数	平成 29 年度 学級数	児童生徒数 減少率
黒須小学校	442 人	14 学級	433 人	16 学級	2%
高倉小学校	348 人	14 学級	306 人	13 学級	12%
黒須中学校	293 人	9 学級	284 人	11 学級	3%

- ・黒須小学校については、5 年前と比較すると、児童生徒数の減少率は緩やかですが、高倉小学校は 12%と大きな減少率となっています。

【保育所の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
黒須保育所	438.63 m ²	昭和 44 年	48 年	RC 造	市
高倉保育所	530.70 m ²	昭和 50 年	42 年	RC 造	個人

- ・築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・保育所は豊岡地区で 1 施設との方向性が示されているため、豊岡保育所、高倉保育所との統合を検討する必要があります。または、黒須保育所は、現在指定管理者による民営となっているため、民営化への移行も模索する必要があります。

②利用状況

	定員	平成 24 年度 入所児童数	平成 29 年度 入所児童数	増減率
黒須保育所	90 人	84 人	80 人	-4%
高倉保育所	90 人	54 人	59 人	+9%

- ・入所児童数については、5 年前との比較で、黒須保育所は 4%の減少となっており、高倉保育所は 9%の増加となっています。
- ・入所児童数は過去 5 年間でほぼ横ばいで推移しており、市民ニーズを把握した上で、今後のあり方について検討していく必要があります。

《豊岡第 3 地区の検討課題》

- ・現在、丘陵上部と下部にそれぞれ小学校と公民館が存在するため、人口動態や交通事情、利用のしやすさなどを考慮して、施設配置を検討する必要があります。
- ・小学校が地区の端に存在するため、児童の通学に配慮することが必要です。また、豊岡第一地区や第二地区と合わせて学区の見直しを検討する必要があります。
- ・公設民営の黒須保育所については、今後の運営方法について協議が必要となります。
- ・地域コミュニティによる地区区分と通学区が異なるため、地域の実情に合わせた見直しの協議が必要となります。